

【発行日】令和4年3月29日(2022.3.29)

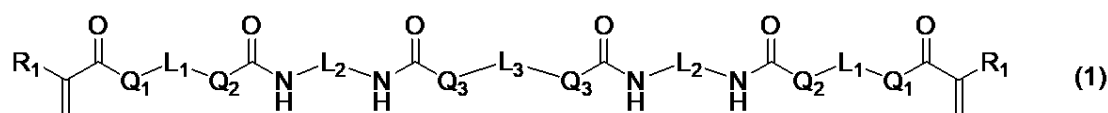
【國際特許分類】

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6

【請求項 1】

【化 1】



(B) 数平均分子量が 1 , 0 0 0 以下である、下記一般式 (2) に示される (メタ) アクリルオルガノシロキサン化合物と、

$$\text{R}_3\text{C}(\text{C}=\text{O})\text{Q}_4\text{L}_4\text{O}(\text{Si}(\text{R}_4)_2\text{O})_m\text{L}_4\text{OQ}_4\text{C}(\text{C}=\text{O})\text{R}_3 \quad (2)$$

【請求項 1 1】

前記反応性希釈剤（D）の含有量は、前記（メタ）アクリル化合物（A）と前記（メタ）アクリルオルガノシロキサン化合物（B）との合計100質量部に対して、10質量部以上75質量部以下であることを特徴とする請求項10に記載の立体造形用の硬化性樹脂組成物。

【請求項12】

25における粘度が、70 mPa・s以上5,000 mPa以下であることを特徴とする請求項1乃至11のいずれか一項に記載の立体造形用の硬化性樹脂組成物。

【請求項13】

硬化性樹脂組成物の硬化物であって、前記硬化性樹脂組成物が、請求項1乃至12のいずれか一項に記載の硬化性樹脂組成物であることを特徴とする硬化物。

10

【請求項14】

請求項1乃至12のいずれか一項に記載の硬化性樹脂組成物の硬化物が層状に積層されて一体となっていることを特徴とする立体物。

【請求項15】

スライスデータに基づいて硬化性樹脂組成物を層毎に光硬化させて硬化樹脂層の積層体を形成する工程を有する立体物の製造方法であって、前記硬化性樹脂組成物が、請求項1乃至12のいずれか一項に記載の硬化性樹脂組成物であることを特徴とする立体物の製造方法。

【請求項16】

前記硬化性樹脂組成物の層を形成する工程と、
前記硬化性樹脂組成物の層に、前記立体物の断面に応じて選択的に光を照射して前記硬化樹脂層を形成する工程と、
を繰り返して前記硬化樹脂層の積層体を形成することを特徴とする請求項15に記載の立体物の製造方法。

20

【請求項17】

前記硬化樹脂層を形成する工程において、紫外線レーザーを点描または線描方式で前記硬化性樹脂組成物の層に照射することを特徴とする請求項15または16に記載の立体物の製造方法。

【請求項18】

前記硬化樹脂層を形成する工程において、描画マスクを通して前記硬化性樹脂組成物の層に面状に光を照射することを特徴とする請求項15または16に記載の立体物の製造方法。

30

【請求項19】

前記硬化樹脂層の積層体を、アルコール系有機溶剤、ケトン系有機溶剤、脂肪族系有機溶剤からなる群より選択されるいずれか一種の溶媒にて洗浄する工程をさらに有することを特徴とする請求項15乃至18のいずれか一項に記載の立体物の製造方法。

【請求項20】

さらに、前記硬化樹脂層の積層体に光照射または熱照射するポストキュア工程を有することを特徴とする請求項15乃至19のいずれか一項に記載の立体物の製造方法。

40